

ポンプ車・ポンプパッケージ設置・操作訓練

【筑後川下流総合管理所関係利水者との合同訓練の実施】

令和3年11月5日（金）午後、豪雨災害や漏水事故等の際に、速やかに場外へ排水を行うため、職員の操作技能の向上を図るとともに、防災業務に関わる地域連携を強化するため、関係利水者と合同でポンプの設置・操作訓練を実施しました。

水資源機構における支援活動の紹介、ポンプ車（60m³/分）、ポンプパッケージ（10m³/分）の概要説明を行ったうえで、9班に分かれて、それぞれの班がポンプの設置、ホースの設置及びポンプの運転を経験し、一連の設置・操作訓練を参加者全員で実施しました。

参加者：関係機関 17機関 参加者28名 見学27名 計55名

（水道事業者、福岡県、佐賀県、自治体、土地改良区）

機構職員 参加者15名 訓練補助10名 計25名 合計80名

（筑後川局、筑後川下流総合管理所、福岡導水事業所、筑後大堰管理所、筑後川下流用水管理所）

訓練場所：筑後川下流総合管理所 筑後大堰管理所 左岸高水敷



ポンプ河川投入



ポンプ運転



排水状況（約0.083m³/秒）

※一般家庭用お風呂200Lとすると、約2.5秒で排出できる量
※ポンプ車には12台のポンプを配備